



元気に泳ぐ鯉のように！

新年度が始まり、1か月が経とうとしています。新規入園の子どもたちをはじめ、全園児が新しい生活に少しずつ慣れてきました。各クラスや園の運営等も軌道に乗りつつあります。体育遊び、英語で遊ぼう、クラス懇談会、消火/避難訓練、誕生会などの行事も順調に実施できました。その中で一人一人の前進が感じられたところです。

5月5日は「こどもの日」です。園庭には鯉のぼりを飾りました。生き生きと活動している子どもと重なります。5月も「75の

星がキラキラ輝くおひさまこども園」に向け、教育・保育活動

に精一杯取り組んでまいります。(写真は、そら組の子どもが作ったり、描いたりした鯉のぼりです。)



3つの約束

進級式において、子どもたちに右の「3つの約束」をしました。それは、本園の目標である「心身ともに健康で、仲間とともに育ち合い、自分をのびのびと表現できる子ども」の基礎だと考えるものです。

- ①「おはようございます。」「さようなら。」などの挨拶
- ②「はい。」という返事
- ③「ありがとう(ございます)。｣という感謝の気持ち

「おはようございます。」「さようなら。」などの挨拶



ことにつながります。

「はい。」という返事

「はい。」は、聴くことから始まります。相手の話をしっかり聴き、その内容について自分にはできるのか、できないのかなどを考え、「できる!」と判断した結果、「はい!」という言葉で表現するのです。このように、思考・判断・表現を瞬時に行う高度な行為だと言えます。

どこかで聞かれたことがあると思いますが、「挨拶」には、「心を開き、その心に近づく」という意味があります。相手の存在を認め、親しくなろうとする行為です。温かいコミュニケーションの始まりであり、良好な人間関係を築く



「ありがとうございます。」という感謝の気持ち

人は、他者の支えによって生きています。自分一人では、生きていくことはできません。「ありがとうございます。」は、自分のためにしてくださった行為や配慮などに感謝する言葉です。感謝の気持ちをもつことは、相手の存在を認め、感動を共有することになり、良好な人間関係を築きます。また、自己中心的になりがちな自分を抑えることにもなります。

各クラスを訪ねると、「おはようございます！」と、元気な挨拶が聞こえてきます。担任の点呼に「はい！」と、手を挙げて応える姿もあります。早速、日常生活の中で取り組んでいることが分かります。しかしながら、言葉の未発達な未満児にとっては、これは難しいことです。

そこで、園では、3つの約束①～③について、「年齢に応じて育てほしい姿」を明らかにし、日々の教育・保育に取り組んでいくことを確認しました。具体的には、「さようなら。」を例にすると、子どもの発達は次のような順になるようです。

㊦ 手のバイバイ → ㊩ 手のバイバイ+言葉のバイバイ → ㊭ 言葉のバイバイ
→ ㊥ さようなら → ㊧ さようなら+おじぎ

0～1歳児は㊦～㊭、2歳児が㊭㊥、3歳児から㊥が徐々に言えるようになる気がします。いずれも個人差があります。お子さんは、今、どの段階でしょうか。できていることを日常生活の中で繰り返し行い、行為と言葉を結び付けてあげましょう。できたことを褒め、次の段階に行ったことを認め、自信をもたせ、習慣化していきましょう。

そこで大事なことは、保護者の方々をはじめ、保育教諭・職員など周りの大人が「やって見せる」ことです。「環境が人をつくる。」と言われます。我々大人は、子どもにとって身近で大切な環境です。3つの姿が育っていくよう共に取り組んでいきましょう!!

保護者会の活動始まる！

4月4日付け「保護者会総会の内容」につきまして、全家庭（60戸数）の同意を得ました。今

・会長	今村 知寛	(敬称略)
・副会長	松尾 悟史	
・書記	森山 優紀、岩川 中	
・会計	北村 力、田原 真志	
・監事	禰占 祐介、谷元 正春	
・理事	山瀬 雄介、森山 拓也	

後、規約に則って諸活動が行われます。昨年度の役員の皆様、大変お世話になり心より感謝申し上げます。新役員の方々は、左のとおりです。昨年同様、皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

今村会長さんをはじめ保

護者役員会が、主体的で独自の活動をこれから実施されるようです。目的は、「子育ての悩みを相互の協力で解決するコミュニティづくり」だそうです。園も応援・協力を行ってまいります。

今村です。皆様のご協力をお願いします！

